



いよいよ阿久比町での協議の場が始まりました。多様な人が未来の阿久比町について話し合いをしました。

お一人お一人阿久比に対する想いや可能性、人とのつながりを大事にされていることが共有できました。

話し合いだけでなく、具体的な「実践」にしていく場にしたという意見も第1回目から出てきました。

地域をつむぐ「緑結び人」養成塾 実践研修モデル 協議の場①阿久比町

グループ発表	1
協議の内容	2
ファシリテーター、事務局より	2
参加者アンケート	3、4

2012. 10. 26

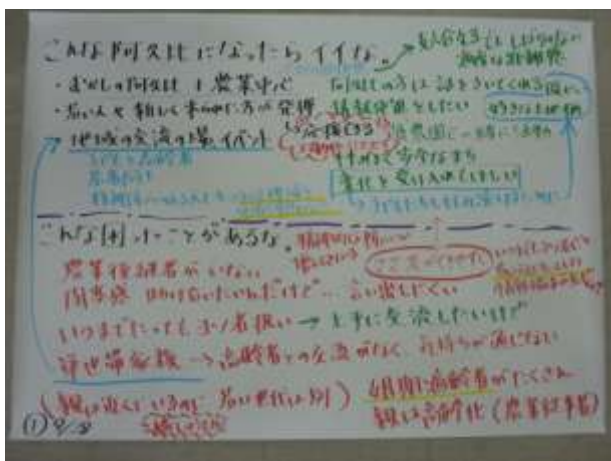
NO. 1

「みんなで作る あぐいの夢事業」

協議の場ニュースレター

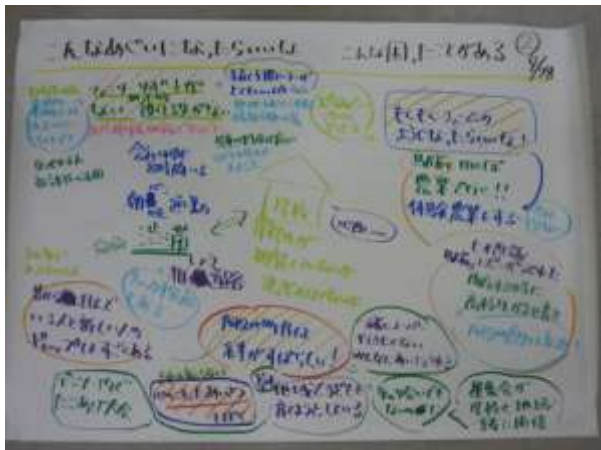
平成24年9月28日(金)13:00から阿久比町中央公民館にて、第1回協議の場が開催されました。初めての顔合わせでしたので自己紹介をし、3つのグループに分かれて、「こんな阿久比になったらいいな」「こんな困ったことがある」というテーマで話し合いをしました。

■グループ発表 “こんな阿久比になったらいいな” “こんな困ったことがある”



《1グループ》

- あたたかな土地柄＋農業中心
- 若者や新しく阿久比へ来た方が発揮できる
- 子どもたちが住み続けられる場所
- ◇農業後継者がいない
- ◇婚期適齢者がたくさん
- ◇いつまで経ってもよそ者扱い



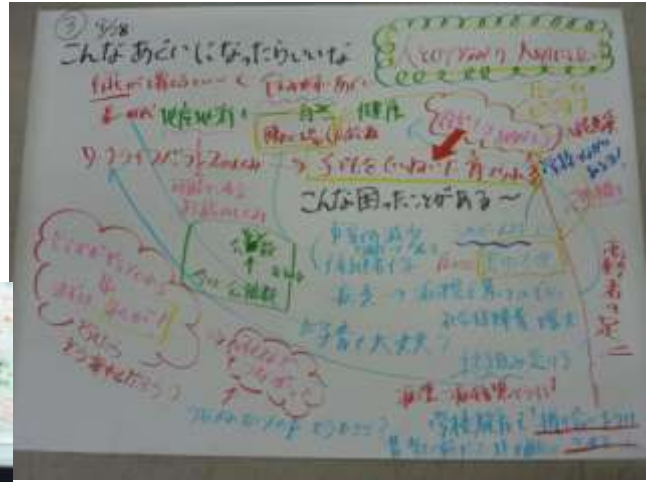
《2グループ》

- 伊賀の里手づくりもくもくファームのように農業を活かしたまちづくりができればいいな
- 町民の“絆”がすばらしい
- 地域で子育てをしようとしている
- ◇ファミリーサポートセンターがない
- ◇学童保育の料金が高い
- ◇昔から住んでいる人と新しい人のギャップがある



《3グループ》

- 人との“つながり”を大切にしたい
- 子どもを丁寧に育てられる
- 地産地消を可能にするお店のしくみづくり
- ◇ 事業所減少、後継者不足→仕事づくり
- ◇ 若い世代の子育て心配
- ◇ シルバー人材の活用



■ 全体の意見

自然豊かな農業の盛んな地域で、赤ちゃんから高齢者まで、また昔から阿久比に住む人から新しく入ってきた人まで世代を超え、立場を超え支えあえる地域にしたい。子どもは地域の人から文化の継承や体験を通して教えてもらう。高齢者は子どもたちを支え、「educate」=引き出す。また、子どもが育ち結婚し、子どもを産むことが幸せだと感じられるような環境をつくっていきたい。



《キーワード》

- ◎ 農業
- ◎ 子育て
- ◎ 安心して働ける

みなさんそれぞれ力がある。
町民の力を引き出していくこと
=“educate”が重要。

柳野祐三さん

■ ファシリテーター、事務局より

- ・第2回 10月26日(金)9:30~12:00 阿久比町中央公民館301です。
- ・次回までに下記の資料に目を通してご参加くださいますようお願いいたします。

- ①第1回 各関係者持参資料
- ②本資料 ニュースレター
- ③第2回協議の場 次第
- ④資料2仕事づくり現状
- 資料3子育て
- 資料4阿久比町のこれから

協議の場で話し合いたいこと、または提案などがございましたら、お気軽にご相談ください。関係する資料なども、ぜひご持参くださいませ。積極的なご参加お待ちしております。

ファシリテーター 水谷香織



■参加者アンケート

1、本日の協議の場はいかがでしたか？全体の感想をお書きください。

- ・楽しく参加させていただきました
- ・とても有意義な刺激的な話し合いができたと思う
- ・阿久比町について様々な意見を聞くことができ、よい経験をさせていただきました
- ・様々な分野の方と情報・意見交換ができ、有意義でした
- ・いろいろな方とお話ができ、とても楽しかったです。今日お話しできなかった他のグループの方と話すのが楽しみになりました
- ・とても有意義な集まりでした。個性豊かな方々ばかりで、いろいろな意見が出てすごく参考になりました
- ・話しやすい進行でとてもよかったです
- ・多くの視点から物事をとらえるコツのようなものを得たように感じます
- ・初めてのこころみで楽しかったです
- ・いろいろな立場の方の考えが聞けてとても有意義でした。まだまだ先が見えず戸惑いも多いですが、ワクワクするような話し合いになるといいなと思いました
- ・皆さん戸惑いながらでしたが、概ね良好に場ができたと思います
- ・2時間半という時間は、会議としては限界だと思いますが、少し時間が足らなかったような気がします
- ・受講生が聞いていたより、大変少なかつたようですが、理由はあったのでしょうか

《見学者》

- ・いろいろな人が集まり、話し合うことはすばらしいですね。ただし、発言できないのはさみしい

2、本日の目標『相互理解』という点ではいかがでしたか？

- ・目的を達したと思います
- ・みなさんの活動やキャラクターなど知ることができたように思う
- ・これから今以上の理解を深めていきたいと思います
- ・初対面でしたが、そう感じさせないフレンドリーな雰囲気の中で交流できました。今後より『相互理解』は深められると確信
- ・立場や環境が違えば、思うところが違うという当たり前のことを改めて感じた
- ・とても有意義な集まりでした。個性豊かな方々ばかりで、いろいろな意見が出てすごく参考になりました
- ・多くの方と出会いができ、これからは楽しみです
- ・みなさんの意見をまんべんなく聞くことができたので次回からの話し合いも楽しみです
- ・皆様が前向きに阿久比町のこれからのあり様をお考えになったおられ、心強く思いました
- ・同じ考え、共通点を見出せる違った内容が多く出て、とてもよかったですと思います。ありがとうございました
- ・相互理解は十分されていたと思います。
- ・はっきりいって、自己紹介だけで(2分？だけ)でお互いが具体的にどのようなことをやっているのか理解できていない。いただいた資料を持ち帰り、理解したいと思うが、相互理解を得るまでには行っていないと強く感じる。

《見学者》

- ・あるべき姿、問題点についてはもう少し話し合う必要はないだろうか

3、今後の進め方についてご意見があればお書きください。

- ・テーマのしぼり方、キーワードの抽出をしながら進行いただと思いますが、 よろしく願いいたします。これから楽しみです
- ・1年後、3年後、5年後、10年後のビジョンを定めて、実現に向けて進めていきたいと思えます
- ・総花的ではなく、テーマを絞り話し合いしていきましょう
- ・テーマを設定するのも良いかと思えます
- ・お任せします
- ・たくさんの資料の中に、そして皆様のご意見の中にダイヤモンドとなる原石が隠れていると思えます
- ・話せばなしだと気楽に何でも言えるが、具体化してくると会の責任者という立場上難しい問題が生じてくるかも？
- ・特にありませんが、もう一度ぐらいフリーディスカッションがあっても、いいのかなと思えます。
- ・正直言ってファシリテーターが少し弱いと個人的には思いましたが・・・不安です。
- ・今一度今回の協議の場のルールなどを徹底したほうが、実りある論議ができると感じます。(行政にすべてがかかってくるような議論の進め方は進展がないと。すべての参加者が同等の立場で、フェアで論議するのが協議の場、参加者のどなたかがおっしゃっていましたが、最終的に「行政」への提言書を作る場ではないと思っているのですが・・・私が間違っていたらごめんなさい。)とはいえ、ほとんどの参加者が前向きな議論が出来そうな方たちばかりなのでほっとしています。ファシリテーターに今後の上手な舵取りをお願いします。

《見学者》

- ・あるべき姿と、現状の問題点に対し、いろいろなアイデアを出し、話し合う



発行・お問い合わせ先：地域福祉サポートちた

〒478-0047 知多市緑町12-1 知多市民活動センター1階

TEL 0562-33-1631 Fax0562-33-1743

E-mail spchita@ams.odn.ne.jp 担当：江ノ上